



# 未来を紡ぐまちの種まき

## くまちづくり協議会活動報告会

令和7年度



## 報告書

8月19日（火）、市生涯学習センターにおいて「まちづくり協議会活動報告会」を開催しました。

当日は、まちづくり協議会関係者をはじめ、一般市民、市議会議員、市職員など約100名が参加。地域の魅力を高め課題を解決するための多彩な事例が紹介され、活発な意見交換が行われました。

本報告書では、当日の様子や質問タイムで寄せられた各質問への回答をまとめております。ぜひご確認いただき、今後のまちづくり活動の参考にしていただければ幸いです。

## 目次

1. 実施結果、アンケート集計結果	2
2. 質問タイムで寄せられた質問への回答	
(1) 伊深まちづくり協議会	7
(2) 三和まちづくり協議会	10
(3) 加茂野町まちづくり協議会	14
(4) 山之上まちづくり協議会	18
(5) 下米田地区まちづくり協議会	22
(6) 古井まちづくり協議会	25
(7) 蜂屋まちづくり協議会	27
3. 感想・応援メッセージ	29

# 未来を紡ぐまちの種まき～まちづくり協議会活動報告会～

開催日時：令和7年8月19日（火）

会場：生涯学習センター201集会室



## － 参加者の声 －

- ・それぞれのまち協が地域の課題を捉え、課題の解決に熱意をもって取り組む様子に感心しました。
- ・各まち協、まちの活性化のための本気度を感じました。
- ・地域のために、大勢の方々が頑張ってることをよく知ることができました。課題に対して楽しんでいるのが伝わってきました。人と人とのつながりをとても大切にしているのが素敵です。
- ・まち協の活動は、次世代の子ども達に大きな影響を与えて素晴らしい未来をつくらせている、歴史を紡いでいるものだと思います。ありがとうございます。
- ・地域のために積極的に活動されている方はカッコいいと思いました。自分のことばかり優先する人生より、地域に感謝したり、将来の子ども達のためにエネルギーを注ぐ人生の方が、豊かな人生のような気がしました。そのような素敵で溢れる美濃加茂市になるといいと思いました！

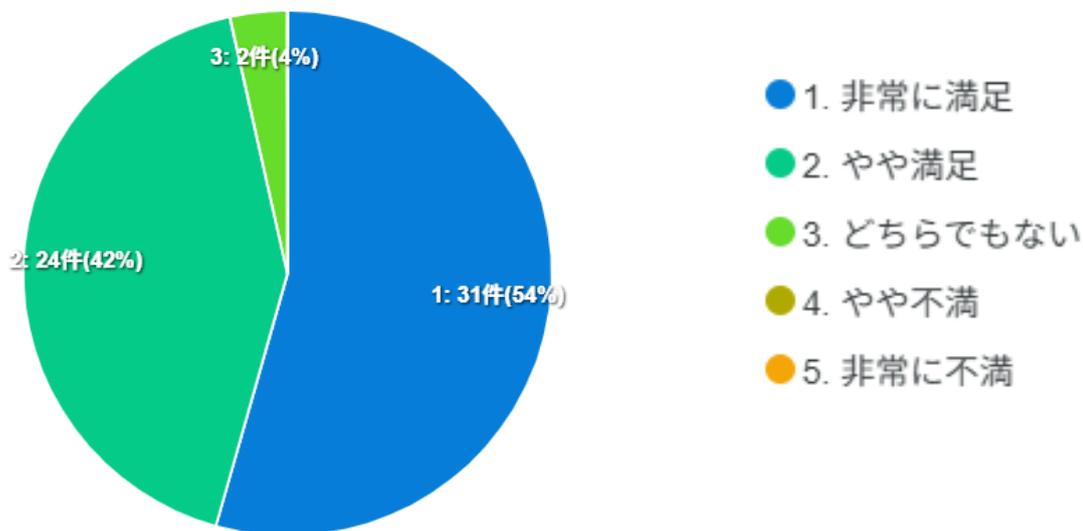
※アンケートの感想を一部紹介します。

# 未来を紡ぐまちの種まき～まちづくり協議会活動報告会～(2025.8.19)アンケート集計結果

参加者:100名(まち協45名、一般13名、職員42名)

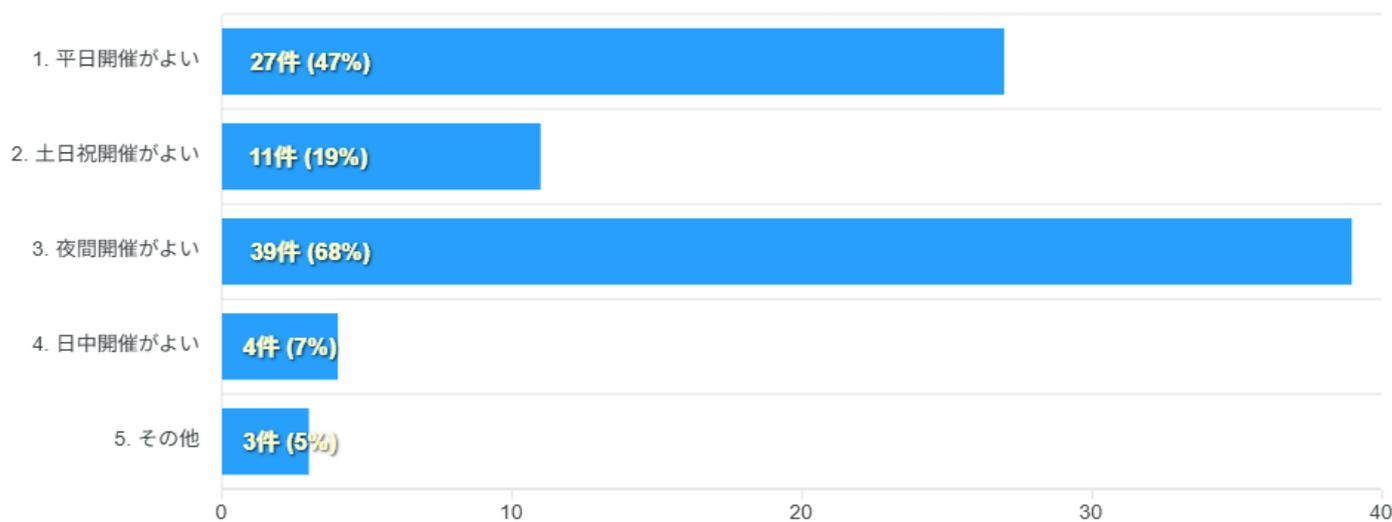
アンケート回答者:57名(アンケート配付者83名中 回答率約69%)

## 問1 活動報告会の満足度



94%が満足、うち54%が非常に満足と回答。満足度は非常に高かった。

## 問2 活動報告会に参加しやすい日時

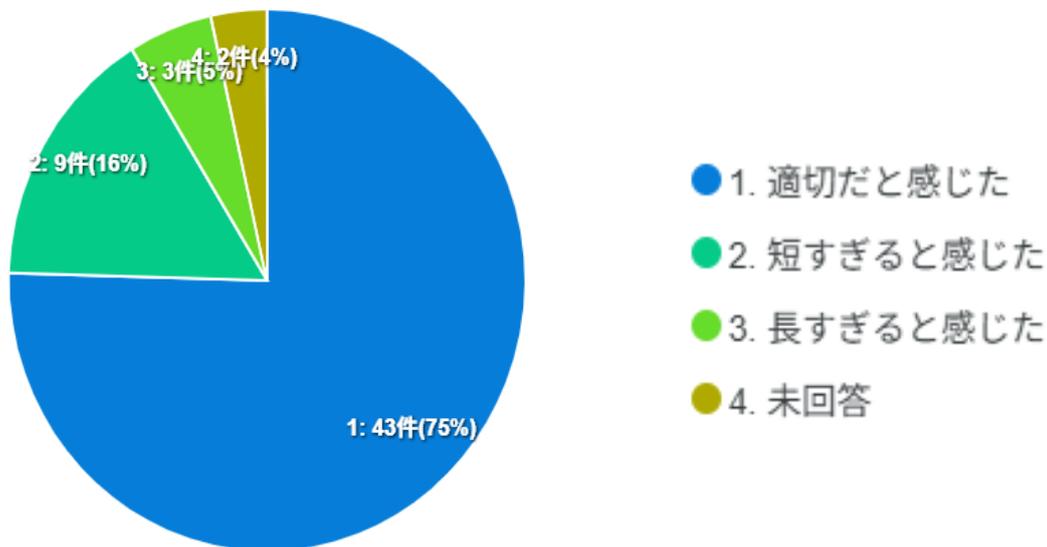


「夜間開催がよい」回答が68%と多かった。

### (その他回答)

- ・まとめて7団体は多すぎ。2・3回に分けて開催してはどうか。
- ・自治会活動、コミュニティの維持を図るために必要に応じて実施する。
- ・平日であれば夜間、土日であれば日中。

### 問3 活動報告会の開催時間



75%が適切と回答している。

### 問4 自由記入欄

- ・まちづくり協議会の活動を高く評価する声が多く寄せられている。一方で、自治会の疲弊や加入率低下、世代交代の難しさなど、まちづくり活動を維持していく上での課題を指摘する声もあった。
- ・運営に対しては、発表団体数が多いため時間が長すぎるとの指摘や、時間管理の徹底を求める声があった。一部の団体の発表時間が予定時間を超えていたことから、進行管理を改善し、全団体に公平な時間を確保する必要性が示されている。
- ・地域間の課題の違いを学ぶ貴重な機会だったとの意見があり、特に地域ごとの問題意識や取り組みの多様性に対する共感を得たとの声が寄せられている。高校生や子どもたちが活動に参加していることを知り、地域の未来への希望を感じたとの声もあった。

#### (自由記入一覧)

- ・各まちづくり協議会の皆さんの地域愛あふれる活動や思いを聞けて、大変有意義な報告会でした。
- ・それぞれのまち協が地域の課題を捉え、課題の解決に熱意をもって取り組む様子に感心した。まち協の活動やその目的、また関わる皆さんの思いが、次第により地域づくりに寄与するものにブラッシュアップされてきていると実感した。
- ・地域ごとで、課題、問題がそれぞれありますが、概ね同じようなことでの困りごとがあると思いました。自治会疲弊、加入率低下、世代交代がうまくいかないことを、どう解決していけば良いのか？こんなにも頑張っ活動してみえる方々への資金面をもっと補助できないものか？楽しいことばかりではなく、困りごとにも目を向けて、活動していけたらもっと良いかと考えますが、結局、面倒なことは嫌だなあという方々もいらっしゃるのでは、昔のようなお互いさまの精

神は、薄れてきた感があります。無償ボランティアでは、今の時代では通用しないかなと思います。今後、有償での活動も視野に入れていかないと難しいですね。

一部の方々の自己満足とも言われる中、無関心で自分のことしか考えてない方々の声もきいてみたい気がしました。

楽しんで活動してみえる方々が、印象的でした。地域活動にご尽力いただいている方々に、心から感謝申し上げます。

また、グループには入らず見学してみえた方々が、今回はかなり多かったとの声がありました。職員さんも準備や質問事項のまとめをしてくださるとのこと、お疲れさまです。

ホームページに掲載されることを楽しみにしています。ありがとうございました！

- ・どのまち協の方々もパワフルで、頭が下がります。仕事との兼ね合いでどれくらいそこに力を注げるか、温度差はあるので、そこに不満や、すれ違いが起きるのではないかなとも思いました。でも、とても良い会だったと思います。
- ・今回参加する事で同じ美濃加茂市内でも地域によって状況が随分と違うという事を考える事が出来ました。加茂野地区の人口は三和地区の 24 倍古井地区の外国人比率 18%など私の住む下米田地区では自治体の世帯数に差が出て来ています。  
三和地区の住宅地問題(新築が不可)なんとかならないのかと思います。  
私は地域に特別思い入れがあるとは思っていませんでしたが、40 年前タイムカプセル！に入れた作文に、将来は地域貢献したい！と書いてありました。自分自身がとても衝撃を受けました。子ども心にこの様な事を思ったのは、今回の皆様方の活動は、形は違えど昔から行われて来ました、その影響でこの様に考えたのだろうと想像します。現在はそのような活動が見えにくくなっている中、皆様方の活動は、次世代の子ども達に大きな影響を与えて素晴らしい未来をつくっている、歴史を紡いでいるものだと思います。ありがとうございます。
- ・各地区ごとの課題がある中、それぞれが前向きに頑張っていることを感じられました。参考になる事例も多く、こうした会が継続して開催されることを望みます。そうすることで一回の発表団体数を減らし、活動内容の発表や質疑応答をもっと深掘りさせることもできると思います。現状が惰性にならず、こうした会で刺激を受けながら常に発展途上の意識で皆が頑張ると良いと感じました。
- ・自治会加入率の向上に向けての方策を各地区毎に提案してもらってはどうか。
- ・地域の個性と発表者の個性がかみあって、全体としていい報告会だった。
- ・休日に半日くらいかけてもいいくらいに充実した内容だった。
- ・質問を通じて発表団体と会場とを1つにするコーディネーターの力量は見事でした。
- ・発表時間を厳守しようと努力する団体とルーズな団体との意識の差が感じられた。  
(伊深がいつも時間を守られていることはすごいことだと思います。)
- ・地域のために、大勢の方々が頑張ってることをよく知ることができました。課題に対し

楽しんでみえるのが伝わってきました。人と人とのつながりをとても大切にしてみえるのが素敵です。このような交流会は大切です。とても有意義な時間でした。

- ・各まち協共、町の活性化のための本気度を感じた。
- ・今回の活動報告は非常に良かったと思います。各地区の取り組みが参考になります。
- ・各まち協のモチベーションがあがると思います。
- ・地域の人のために頑張っている人がこんなにもいらっしやると感じ、今後の活動の力にしたい。
- ・高校生の参加での話が聞けたのが、次回の活動に取り組んでいきたいと思った。
- ・各自治体の活動の様子が聞けて、大変参考になりました。
- ・参加者全員が非常に前向きで、まちづくりに対する熱意を感じた。
- ・発表時間を割と守って下さったのでよかった。この種まき…はよかったと思う。
- ・地域のために積極的に活動されている方はカッコいいと思いました。  
自分のことばかり優先する人生より、地域に感謝したり、将来の子ども達のためにエネルギーを注ぐ人生の方が、豊かな人生のような気がしました  
そのような素敵な人で溢れる美濃加茂市になるといいと思いました！
- ・運営方法が素晴らしかった。(自治会自慢方式)  
楽しく参加することができ、又勉強にもなりました。ありがとうございました。
- ・地域のまちづくりの様子や内容がよく分かりました。質問や応援メッセージなど、それぞれの地区に対して記入されていたことが印象的でした。
- ・参考になることがたくさんありました。
- ・今日の報告会をきいて、自治会の存在がより一層低くなった！  
そもそも「まちづくり協議会」が創設された背景は、伝統的に存在している自治会活動を影でフォローして、コミュニティの維持をサポートする役割であった。具体的には各地域にはどこにおいても色々な考え方を持つ人がたくさんおられ、それぞれの考え方をまとめる一方、地域には多様な考えがあることを地域の人たちに知らせる役。コミュニティを活性化、団体を強くするためのイベントの実施は自治会に任せるべきであり、まち協は影でサポートすることが望ましい。
- ・元気をもらいました！！  
まちはいいなあ～北村さんも最高です！ありがとう。
- ・各協議会の熱い意志が大変感じられる。違いがわかって、今後の活動に大いに活用できそう。

伊深まちづくり協議会

	質問内容	回答
まち協メンバーについて		
1	メンバーの年齢層を教えてください。	メンバーは30代から70代までの幅広い層の方々に構成されています。役員は60代と70代が中心です。
2	どんなメンバーがいるのか教えてください。	メンバーは25名で、役員のほか、自治会長や体育委員、PTA会長、子ども会会長などがいます。
3	どうやってメンバーをひっぱり込んでいるのですか。	自発的に加入されています。 直近では、今年度、防災の観点でまちを良くしたいという思いの防災士2名が自発的に加入されました。
まち協の活動について		
4	まち協の柱となる活動はなんですか。	歴史文化の継承と、自然など里山の特性を生かした活動です。
5	活動計画は誰が作っていますか。	役員会で活動内容や方法を共有し、その後の定例会で意見交換を行って作っています。
6	この活動の元気の源はどこから湧き出ているのですか。	地域をもっと良くしたい、もっと楽しくしたいとの思いからです。 そのために、まず自分たちが笑顔で楽しく、仲間たちとワイワイガヤガヤ活動することを心がけています。
7	活動をしていく中で大事に思っていること、大切にしていることはなんですか。	人任せではなく、地域の方と一緒に、地域の中で協力してやっていくことです。
8	活動して困ったことと、それにどう対応したかを教えてください。	いつもみんなで知恵を出し合い、柔軟に対応しています。 何とかなるさの精神で、まずははじめの一步を踏み出してみる。その後は、歩きながら修正しています。

伊深まちづくり協議会

9	活動には同じ人が関わっているのですか。それとも関わりが広がっていますか。	関わりが広がっています。 盆踊大会や秋フェスタなどのイベントは、自治会長会を中心とする実行委員会を立ち上げ、そこにまちづくり協議会などが加入し、一緒にイベントを企画・運営しています。また、昨年度からは視察研修は自治会長会と一緒に going to 行っています。
10	関係人口の協力体制を詳しく教えてください。	いぶカフェやIBUCALを活用した、まちづくり課の企画やイベントなどが数多くあります。その一つである『みのかも里山なりわい塾』では、伊深ごはん研究会の食事のおもてなしやまち協会長の講演などを通じて、関係人口増に向けた施策に協力しています。
11	各活動における参加者数と関係者数を教えてください。 協議会メンバー各々の関わりと、伊深町民の理解参加についても教えてください。	活動の一部ですが、次のような実績となります。 ○ホタル（お月見）コンサート、（6月、9月） 参加者：50～60名 ※町民は2割弱 ○年越しそば打ち（12月）30名 ※町民がほとんど ○凧あげ大会（2月）70名 ※町民は4割程度 そば打ちはメンバーのそば打ち研究会が企画運営。
12	自治会とまち協の活動はどのように行っていますか。	盆踊大会や秋フェスタ（文化祭）などの一大イベントは、自治会長会を中心とする実行委員会を立ち上げ、そこにまちづくり協議会が加入し、一緒にイベントを企画・運営しています。また、視察研修には、まちづくりという目的を同じくすることから、昨年度からは自治会長会と一緒に going to 行っています。
13	小さな助け「ちょっと頼む輪」の運営の仕方を教えてください。	各自治会に数名の協力員を配置しています。 この協力員たちは、日々の何気ない声掛けなど、まずは自分の身の回りの人を気に掛けることを大事にしています。また、年に3回連絡会議を開催し、各地区の現状と課題を情報共有しています。
14	昔の歴史は何歳くらいの方が出席してみえますか。最高齢の方は何歳ですか。	91歳です。
Instagramについて		
15	インスタグラムは誰が更新していますか。	まち協の副会長が更新しています。

伊深まちづくり協議会

16	インスタグラムの登録者はどんな人が多いですか。伊深町民？市民？市外の人？	登録者は約600人です。 美濃加茂市民が多いですが、伊深町民は多いとは言えません。
絵本について		
17	絵本の発行部数・制作費用・配布方法を教えてください。	「えげんさん」 発行部数：500部 制作費用：全額市補助金活用 配布方法：窓口販売
18	絵本はどうやってつくっていますか。（文と絵）	地元の歴史研究者と文化の森の協力を得て、作成しました。
19	えほんの出版すばらしい！アマゾンで買えますか。	アマゾンでは販売しておりません。 伊深連絡所の窓口で販売しております。
その他		
20	市民ミュージアムとの連携を企画展にしたらいかがでしょうか。	歴史の活動は市民ミュージアムと連携して行っています。市民ミュージアムとの連携はこれからも行っていききたいと思います。企画展についても検討したいと思っています。
21	旧櫻井邸を活用した「まちづくり」の今後の展開について教えてください。	IBUCALとの協力体制を強化し、まちづくりの資源として更に活用していきます。
22	クサギごはんとはなんですか。	クサギとは、昔えげんさんが食べるようにと教えてくださった山菜のことで、それをごはん混ぜたのがクサギごはんです。伊深で伝え残していきたいと思っています。
23	ギャラリー伊深とはどこにあるのですか。	伊深交流センター（伊深町927番地1）のエントランスホールにあります。開庁時間は、平日の8時45分から16時45分までとなっています。

三和まちづくり協議会

	質問内容	回答
まち協メンバーについて		
1	活動組織はどのように行っていますか。	10年前から部会制で活動しています。当初は「空き家」「御殿山キャンプ場」「環境」「情報発信」の4つでしたが、現在は「みわにわ観光」「森林」「企画」が追加されています。
2	どんな人たちがメンバーになっているのですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前の会長が、声掛けして執行部会は60代が中心でした。40代もいますが、今では70代となりました。全体会メンバーは充て職の皆さんで、自治会の統合で自治会長が3人となり、人数が少なくなりました。2年前メンバーを募集したところ、4名の40代メンバーが入ってくれました。</li> <li>・得意な分野または趣味、特技を生かしたり、部会の代表者および、各種団体の代表者で構成しています。</li> </ul>
空き家対策について		
3	空き家対策とはなんですか。具体的に教えてください。	まず、空き家が何軒あるのか、どのような家なのかを調査します。そして所有者と話をし、空き家として貸すのか売買するのかを確認します。市の空き家バンクができてからは、空き家バンクへの登録を勧めています。空き家になる前に何か手を打てないかと「相続なんでもお喋り会」というものを企画しました。
4	空き家の調査はどのように行ったのですか。	空き家対策リーダー（部会長）が、どこの地区に、どれだけ空き家があるのかを自治会長にお願いし、その結果を地図に落とし込み、連絡先、持ち主の状況などもわかる範囲で調べてもらいました。こうした動きをするなかで「空き家のことは、まち協に聞けば」という話がありましたが、今では空き家バンク「みのかも時間」もあり、情報提供もないので、再調査をして、町民に関心を持ってもらえればと思います。
5	空き家調査はどのように誰がやっているのですか。	
6	空き家バンクの調子はどうですか。	現時点で登録はゼロで課題だと感じています。

三和まちづくり協議会

	質問内容	回答
7	空き家の仏壇はどうしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外にお住いの持ち主の方が土日に家の中を片付け、仏壇はお寺に依頼されました。それから空き家バンクに登録されました。他には仏壇の引越しもお手伝いしたこともあります。それぞれの意向を確認し、持ち主で処理いただくのが基本かと思います。</li> <li>・売買または賃貸が成立した場合は仏壇屋等に引き取りを依頼しています。</li> </ul>
8	空き家の戸数の状況を教えてください。	現在約20戸です。
9	空き家が増えているのに提供が難しい最大の理由はなんですか。その対策は何をされているのですか。	理由としては、仏壇がまだ家の中にある、家族間で話をつけるのが面倒である、などがあげられます。その対策としては、個々に話をすることが大事ですが、プライバシーに関するもので難しいです。相続終活のおしゃべり会も、「空き家になった時どうするか」まで話ができればと思います。
10	空き家の持ち主さんの考えをきちんと知りたいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのために、隣近所、親戚の人から、話を聞いてもらうことができればと思います。</li> </ul> 市では、3月の固定資産税納税通知書を送るとき、空き家バンクありますよ。みたいなチラシを入れてみえるようですが、三和町だけは状況を説明した内容のチラシを入れてもらえないか考えています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち主さんと根気よく話し合っ方針等を聞き出すことが大切だと考えます。</li> </ul>
11	定住促進住宅はどのようにして実施できたのですか。	他の市営住宅と比べて入居率が低いなか、空き部屋のままともったいないし、まち協の人口を増やしたいという活動もあり、市が条例を改正して定住促進住宅とされたと思われま。
12	空き家、終活について勉強してみえますが、今後どのように進めていかれますか。	空き家の再調査と、お喋り会を地道に進めていきたいと思っています。
13	終活の取り組みに至った経緯を教えてください。	質問9を踏まえて、話ができるうちにしっかり家の今後のことを決めておきたいとの考えから始めました。

三和まちづくり協議会

	質問内容	回答
まち協活動について		
14	ホタルをPRした活動はありますか。	三和まち協ではありませんが、昔はホタルコンサートをやっていました。 しかし、ごみのポイ捨てや狭い道が渋滞するなどの問題があり、現在はホタルのPRはしていません。
15	学校の活動にどう関わってきたのか教えてください。	資源回収、校庭の草取りなど、自主的にお手伝いしたり、小規模特認校の説明会にも参加したこともあります。特色のある教育ということで、ヤギを飼うことになり、ヤギ小屋を作るお手伝いもしました。 子どもたちは三和の宝という認識でいます。
16	活動していて困ったことと、それにどう対応したかを教えてください。	自治会の統合で、自治会長が10人から3人となり、充て職で参加いただいていた人数が減って個々への負担が大きくなりました。 活動の数を減らしたりしましたが、どうしても人数が必要な時は、まち協役員以外の人に声掛けをしてお手伝いしてもらってます。
17	活動に対してのエネルギーは何ですか。	10年前に名古屋大学教授高野先生の講演会で、「このまま何もしないと、著しく人口が減る」と聞いて、「これは今動かないと」ということから始まりました。三和町を何とか存続させたいという気持ちや、将来人口ビジョンへの危機感が、ひとつの理由だと思います。しかし10年もやっていると、さすがにモチベーションが下がるときもあります。
18	エネルギーはどこから出ていますか。	若い方に新しい役員として入っていただいて世代交代を目指しています。高齢の役員が交代した後は「まち協応援団」として、関わっていく予定です
19	三和町御殿キャンプ場の管理人は1人なのはすごい。 どのようにやっているのですか。	コロナ禍が過ぎて、3年前三和町に移り住んで見えた方に去年から管理人をやっていただいています。ご家族の協力や、執行部会も協力します。 基本はチェックイン、アウトの時の立ち会いです。他に掃除などです。受付は「なっぷ」という予約サイトを利用しています。

三和まちづくり協議会

	質問内容	回答
20	「三和町夏まつり」の財源は主に何でしょうか。	市からの交付金、地域からの協力金、夏祭りの売上げが主な財源です。
その他		
21	交流人口を増やした経緯を教えてください。	三和町を知ってほしい、来てほしいという思いから、まち歩き・御殿山キャンプ場・ワークショップ（リフォーム、壁塗り、BBQ小屋づくり、菌糸打ち、門松づくり）・登山（御殿山、納古山、富士山）・落語会、講演会（高野先生、澁澤先生）などを実施してきたことが、知らず知らずのうちに交流人口の増加につながったと思います。事前のPRとして、まち協新聞、SNSの活用もしてきました。そして、新たに喫茶つみき、つづやビレッジがあります。
22	おもしろく、行ってみたい。住んでみたいような要素が多いが、どうすれば人口増につながると考えていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前の名古屋大学教授高野先生の講演のとき、「今、暮らしを手作りしたい若者が山村に移住している。三和町に使える田畑と住まいがあれば、若者は来ます」というコメントをいただいたように、実際若い方に来てもらっています。現在の課題は「空き家の提供」です。</li> <li>・まち協を中心に三和町のPR、空き家の新たな可能性を開拓することです。</li> </ul>
23	企業との連携方法を教えてください。	学生などの視察があった際に、三和町で事業を展開したきっかけなどの体験談を話していただいています。
24	以前ホタルコンサートに行ったことがあります。ホタルコンサートなどを市内で広報してほしいです。	昔のホタルコンサートは、1989年から始まり20回で終わりました。4回目からは、地元の実行委員会主催で開催してきました。今は三和小学校が「ホタルコンサート」を地域住民を対象に6月に開催していますので、こうしたご意見は三和小学校にお伝えします。
25	土砂災害特別警戒区域をなくすことはできないが、緩める方策を探してほしいです。	難しい課題ですが、規制緩和について行政に相談していきたいと思っています。

加茂野町まちづくり協議会

	質問内容	回答
まち協について		
1	まち協の参加人数と年齢層を教えてください。	会員は30名。60歳以上が約80%を占めています。
2	一般社団法人のメリットと法人化された理由はなんですか。	加茂野交流センターの管理業務を市と契約を結んで行っています。管理業務を請け負うということで、法人格を持った団体とすることで信頼を置いてもらえると考えます。
3	社団法人の運営について教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂野交流センターの管理業務とまちづくり活動。</li> <li>・会計はまちづくり活動と管理業務の2つ。</li> <li>・5月に前年度の決算、法人税の支払い、6月に総会。6月と12月に管理人の所得税支払い。7月初旬までに労働保険手続き。毎月管理人の給与支給。</li> <li>・毎年10月に次年度の予算要望のため、見積書を市へ提出。3月末に管理業務の委託契約を市と締結。厚生労働省等の役所から様々な調査があり、その都度対応。</li> <li>・2年に一度、役員改選。司法書士に依頼し法務局に登記。毎年、決算については税理士と相談。</li> <li>・毎月一回役員会（理事4名、監事2名、顧問1名、自治会代表2名、小学校運営協議会代表1名、管理人代表1名、連絡所長、まちづくり課係長）を行い、よりよい運営になるように協議しています。</li> </ul>
かものフェスティバル、イベントについて		
4	運営スタッフの総人数と、各セッション（盆踊り・ビアガーデン・ナイトあまち）のスタッフの人数が知りたいです。	自治会長・副会長 32名 まち協会員 30名 消防団 30名 ボランティア100余名とスタッフを合わせたの総人数は約200名です。
5	かものフェスティバルの開催場所はどこですか。	加茂野小学校運動場と加茂野交流センター及び小学校隣の天乳池です。
6	かものフェスティバルは打ち合わせいつから、何回しましたか。	実行委員会をつくり、2回実施しました。
7	フェスティバルに参加している人は、自治会加入と未加入を差別化していますか。	差別化はしていません。

加茂野町まちづくり協議会

	質問内容	回答
8	イベント告知は何を使用しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち協便り（毎月発行、自治会委員全戸配布）</li> <li>・案内チラシ（自治会員前項配付）</li> <li>・掲示用ポスター</li> <li>・インスタグラム</li> </ul>
9	イベントの熱中症対策はどのようにしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救護テントを設け、看護師資格を持つ方をお願いしています。</li> <li>・飲料水、氷、経口補水液を準備しています。</li> </ul>
10	中学生ボランティアはどのように集められましたか。	担当者が中学校へ出向き、または文書を発送し、お願いをしています。中学校側がボランティアの募集をかけてくださり、誰が参加するのかを連絡いただいています。
11	イベント等のボランティアの参加はどのように進めていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生は各学校の教頭先生を窓口として、ボランティア担当の先生に依頼。</li> <li>・自治会組織、交流センターでの活動団体等に依頼。</li> </ul>
12	新しく転入してきた人もフェスティバルに参画してくれていますか？	参加してくれていると思います。
13	蜂屋でも秋に千人を越える規模のイベントを準備中です。大人数のイベントを運営する際に気を付けていることを教えてください。	夏場は特に熱中症対策を大切にしています。また、交通安全協会加茂野分会にご協力いただき、事故がないように気を配っています。駐車場・会場については小学校に協力を依頼しています。
まち協の活動について		
14	軽トラ市もやっていると聞きましたが、詳しく知りたいです。	7月と12月に開催。出店者は第一回開催の時にまち協便りで募集。その後の開催は、一回目の出店者に会長が出店できるかどうか確認。また、まち協便りで新規出店者を募集。2回とも加茂野小学校の児童が参加し、種から育てた花苗を来場者に無償配布しました。
15	自治会長会の主催の「夏祭り」をやってみえることはすごいです。他の団体（まち協・PTAなど）はどのような活動・関わりをしていますか。	実行委員会を立上げ、自治会長会の担当者が実行委員長、まち協の会長が副実行委員長を務めます。委員には、他の団体の代表が加わっています。

加茂野町まちづくり協議会

	質問内容	回答
16	人が多いのでイベント中心となりますね。	自治会への加入率が低下している中、イベントをとおして、地域の文化の継承や助けあって生活していくことの大切さ等を啓発していきたい。特に、子どもが関わることをとおして町民の関心を引き、コミュニティ形成の基盤としていきたい。
外国籍の方との関わりについて		
17	外国籍の住民が多い中で、まちづくりや地域づくりにどんな関わりがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人にとって住みよい地域になるように、地域の一員としての自覚を感じてもらうように関わりができる機会を作りたいと思うが、なかなかそこまで手を伸ばす余裕がありません。</li> <li>・外国籍の住民も自然と参加しています。</li> </ul>
18	新しい世帯や外国籍の方に参加してもらう工夫は何かされていますか。	まずは子どもに参加してもらい、楽しかったという思いを持ってもらっています。子どもをとおして親に楽しかったという思いが広がり、自治会に参加してもらえたらと考えています。
学校等との連携などについて		
19	学校はどのようにまち協に関わっていますか。	学校運営協議会にまち協の役員が2名と自治会長会の担当者1名が参加しています。運営協議会をとおしてまち協への協力を依頼しています。学校は、まち協の依頼には協力的です。 運営協議会の会長はまち協の会長が務めています。
20	校長先生だったお立場から学校との連携のコツを教えてください。	中学校には、ボランティア担当の先生がいらっしゃるのので、ボランティアをお願いすると集めてくださいます。小学校との関係では、まち協の会長が学校運営協議会の会長を兼任しているため、連携しやすいです。
21	加茂野小の児童が多いが、子ども会活動が停止した地域がある理由はなんですか。	自治会への加入率低下と共通しているような部分もあるように思われます。特に、役職を避けたい、子ども会の取組を行おうとしても参加が少ない等の理由があるのではと推測しています。親が忙しくて、地域との関わりを避ける傾向があるようにも思います。

加茂野町まちづくり協議会

	質問内容	回答
22	各団体のまとめが素晴らしい！連携がうまくいくコツを知りたい。	自治会長会が中心になっていくことだと思います。自治会長は副、長と2年で役を終える。まち協は任期がない。自治会長会の補佐として連携していくのが良いかとも思います。
23	子どもたちの参加、広報はどのようにしていますか。	小学校、保育園、子ども園へ出向いて協力を依頼しています。フェスティバルについては、まち協便りやチラシを自治会加入者全戸に配布しています。
自治会について		
24	まち協と自治会長会との関わり方を教えてください。 自治会長は協力的ですか。	自治会長会は協力的です。まちの課題解決には自治会長会の存在が大切だと思います。
25	自治会役員とまち協役員は重なっていませんか。	自治会長会から2名がまち協の役員に入っています。現在、まち協には5名の理事がいますが、その中の2名は自治会長の時に役員として参加した者が、翌年から理事として関わっています。
26	自治会離れ、自治会活動縮減はどの程度進んでいますか。（特に団地地区）	自治会加入率は低下をしています。班長などの役が来たり、世代が変わるとやめる人がいるとも聞きます。団地はありませんが、近年建つ家の方は加入が少ないように思います。
27	自治会加入率低下の原因は何だと思われていますか。	自治会に入るメリットがないという声はよく耳にします。しかし、自治会に加入し活動していく中で増える「人とのつながり」はメリットになり得るのではないかと考えています。 一軒でも加入者が増えるように啓発を図っていきたいと考えています。
28	自治会加入率低下の原因は何ですか。増加のために何かされていますか？	
29	楽しい場所を作ってみえますが、自治会加入率が50%を切っているのはなぜだと考えてみえますか。	
30	自治会加入率50%切っていますが、なぜ自治会に参加しないのでしょうか。まち協として取り組んでいることはありますか。	
31	情報を自治会未加入者へどう伝えていますか。	

山之上まちづくり協議会

	質問内容	回答
まち協メンバーについて		
1	どんな人たちがメンバーになっているのですか。	自治会長会から3人、運営委員、民生委員、自治会OB、民生委員OB、消防団OB、PTAのOB、生涯学習委員、社会福祉協議会、土地改良役員などがメンバーになっています。主力メンバーは65歳～80歳前半です。 また、イベント時には消防団、PTA、子ども育成会、自治会、財産区などが携わっています。役員は運営委員約40名、協力者約40名、LINE加入約80名います。
2	まち協と自治会とで役員は重なっていませんか。	自治会長から3人がまちづくり協議会の運営委員に参加しています。
3	役員などの世代交代うまい！どのようにしたらできるのですか。	運営委員で2～3年活動していただき、自発的に役員になってもらいます。まちづくりが楽しいと思ってもらうことが重要です。
4	新しい人をどのような方法で巻き込んでいますか。 若い人はまち協に入っていますか。	夏祭りやふるさと祭りに参加していただき、楽しいと思ってもらうことが重要だと考えています。ふれあいサロンのスタッフとして参加してもらうことも行っています。
薪作りについて		
5	薪づくりの伐採は、どのような山（どなたの山）を伐採しているのでしょうか。	私有地、部落の共有林、部落の神社林、財産区林の伐採を行っています。 敷地内の木を切ってほしいという方や事業者の方がたくさんいらっしゃって頼まれるので、その木をまち協で切って販売をしています。
6	薪を作るための木は私有林ですか。	県や市の山でも、木材が出せるところは受けています。
ローゼルについて		
7	ローゼルにつながったきっかけはなんですか。	耕作放棄地での栽培に適しており、栽培が簡単であることです。
8	ローゼルの加工の許可はどうなっていますか？	ローゼル食品加工の許可を取った場所をお借りして作っています。
9	ローゼルはどこで栽培していますか？ 管理は大変ですか？	清流里山公園15アールをまちづくり会員20名、その他20名で管理しています。
薪・ローゼルの収益について		18

山之上まちづくり協議会

	質問内容	回答
10	薪の収入は何に使っていますか。	山の下刈り、草刈り、原木の伐採、寸法切り、チェーンソー(個人持ち)、原木運搬(軽トラ借賃)、薪割機の借賃、薪の積込み・配達、薪割イベント等に使用しています。
11	薪づくり、ローゼルの収入はまち協だけに入るのですか、それとも個人の収入になるのですか。	収入のうち9割は、ローゼルの苗代、植栽、草刈、収穫、加工、薪づくり、ローゼル作りのための経費として個人に支払います(実費弁償)。個人の収入ではありません。1割はまち協の活動費になります。
12	薪やローゼルの販売すごいですね。どのくらいの収益ですか。	決算報告書のとおりです。 まち協の支出が約260万円のうち、薪とローゼルの収益が合わせて125万円(薪が約115万円、ローゼルが約10万円)。自主財源の割合としては5割弱です。
13	ローゼルの収益、薪の収益はどのくらいですか。	
14	薪づくり、ローゼル販売の額は全体の活動費の何割になりますか。	
15	自主財源での活動費充足率は何%程ですか。	
小学校との連携について		
16	小学校との連携はどうやっているか。	学校運営協議会とまち協を兼任している方が多くいらっしゃるため、学校での困りごとをまち協で考え解決に向けて動くなどの連携を行っています。
17	山之上小学校の仕組みを教えてください。	3年前から、学校評議員から学校運営委員に変更。教育委員会から委託され、住民代表、まち協会長、民生児童委員、PTA会長、学識経験者など運営委員会が学校運営を主導することになっていますが、校長や教育委員会が主導しているのが現状です。
18	こども園のこどもたちが山之上小に行けるように小規模特認校とする考え(地元の人思い)を教えてください。	小学校入学児童が今年度は5人で、まだまだ減少傾向にあり、廃校になることを心配しています。
ふれあいサロンについて		

山之上まちづくり協議会

	質問内容	回答
19	ふれあいサロンに来られる方はどうやってあんなに多くなったのですか。口コミですか。	当初は山之上の方に来てほしいと思っていたが、口コミで広がり、山之上以外の方も来てくださるようになりました。一番多い時は120名+スタッフ20名が参加しました。季節のもの、地元のもの、昔ながらの料理にこだわっています。
20	JA施設を使ったふれあいサロンを他の地域でもやってほしいです。	三和、下米田など、地元のまちづくり協議会がJAと話すといいと思います。
21	JAの賃代、料金はいくらですか。	JAは1ヶ月10,000円、1回1,000円となります。
その他活動について		
22	ふるさとまつりの具体的な内容が知りたいです。	自治会、体育振興会、小学校、子ども園、消防団、PTA、子ども育成会、生涯学習(代表)、まちづくり協議会、山之上飲食店、連絡所、加茂農林高校、各種サークル団体など様々な団体が、出店や発表などを行っています。
23	活動や行事の数は年間どれくらいですか。	行事や会議、準備含めて年間約200回活動しています。
24	楽しいことだけでなく、草刈りなど頑張ってみえますがボランティアでしょうか。自主財源からはなにか出るのでしょうか。	ボランティア活動に参加した人については費用弁償ということで最低500円、草刈り機やチェーンソーなど持ってきていただいた人にはガソリン代相当をお支払いしています。
その他		
25	山之上の良さはなんですか。どのように知らせていこうと考えていますか。	農業、里山、自然環境。協力し合い、文化を守って継続していきたいと考えています。
26	活動していく中で大事にしていることはなんですか。モチベーションは。	楽しい、おいしい、きれい、おこづかい、やりがい
27	成果に「団体間をつなぐ役割を担えるようになった」とありますが、例えばどんなことですか。	自治会、学校、子ども園、体育振興会、生涯学習、土地改良、財産区、福祉(民生)、まつり(神社)、夏祭り、ふるさと祭りにおいて、主役ではなく応援団という立場で団体間をつないできました。

山之上まちづくり協議会

	質問内容	回答
28	広報紙の作成について、内容を決め、編集するのは大変かと思いますがネタづくりはどうしていますか。	役員会、運営委員会で検討しています。
29	グループラインの勧誘はどうやっていますか。	活動に参加していただいた方に勧誘を行っています。

下米田地区まちづくり協議会

	質問内容	回答
まち協役員について		
1	まち協役員の平均年齢は何歳ですか。	役員は30代から70代まで幅広く、平均すると55歳くらいです。
2	他のまち協が定年層中心に活動している中、下米田が若年層中心に活動できるコツはなんですか。経緯も教えてください。	PTAや消防団を経験した方の中から、協力いただけそうな方に直接声を掛けて、仲間になっていただいています。
6つの部会について		
3	6つもの部会ができた経緯を教えてください。どこからアイデアが出たのですか。	まちづくり協議会立ち上げ時の指標を作る際に、アドバザーからアイデアをいただきました。部会の名前は、準備会のメンバーで考えました。
4	6つの部会はどのように生まれたのか教えてください。	
5	部会の中心となる人材の探し方について教えてください。	口コミや声掛けをして好印象な方は中心になっていただくのに相応しいと考えています。また、消防団の方は責任感が強く地元コミュニティに貢献する意識が高いので、ぜひ関わっていただけたらと思っています。
6	部会毎の活動ということですが、予算配分はどの様にしていますか。	各部会、均等に割り振っていますが、流用を妨げないこととしていますので、活動の状況により柔軟に対応しています。
7	6つの部会名と役割を教えてください。	健康福祉部会、歴史文化部会、交通防犯部会、環境防災部会、若者雇用・産業観光部会、子育て教育部会の6つの部会があり、各部会約10名で構成しています。基本的に1人1部会で、複数の部会に入っている人はいません。
8	6部会とはどんな部会がありますか。各部会何人くらいのメンバーがいますか。	
9	各部会に何人くらい所属していますか。複数の部会に入っている人もいますか。	
10	6つの部会それぞれの部会は何人で活動していますか。	
11	部会のメンバーはそれぞれ何人くらいいますか。	
12	部会の中でやりたいことが複数出てきたときの調整はどうやってしていますか。	活動を絞り込んだり、季節を変えてバランスよく実施するなどして、できる範囲で活動していくようにしています。

下米田地区まちづくり協議会

13	今後、部会の中で草刈り、竹藪整備隊を作っていきたいのですが、いかがですか？	とても素敵なお提案をありがとうございます。検討したいと思います。
14	活動内容はどうやって決めているのですか。	活動内容は部会の中で決めています。部会員はそれぞれ思いがあるので、その思いを引き出すことを大切にしています。トップダウンではなく、部会発案・発信が主で、まち協の役員はサポーターとしての役割を担っています。
夏祭りについて		
15	夏祭りに多くの人が集まる理由は何だと思いますか。	40年間続いているという伝統があるからだだと思います。また、子どもたちが主役の行事ということと、身近なところに祭りがあるということも理由の一つだと思います。
仮面ヨナダーについて		
16	今、仮面ヨナダーはどこにありますか。	仮面ヨナダーが描かれた服などを作ってPRしています。また、小学校でも仮面ヨナダーの服を作ってPRしてくれています。着ぐるみを作ったほうが良いのではという話は出ています。
17	どこに行けば仮面ヨナダーに会えますか。	
18	仮面ヨナダーの仲間は誕生しますか。	募集中です！！
19	仮面ヨナダーは自作されたのですか。それともどこかへ依頼されたのですか。	準備会のメンバーで、「よなだ」と「仮面ライダー」を組み合わせたキャラクターを作ろうと決めました。「仮面」としているのは、「誰もが仮面ヨナダーになれる」というメッセージを伝えるためです。「地球を守ってくれる人、よなだを助けてくれる人—それは皆さんのことです。誰もが入れる、それが仮面ヨナダーのコンセプト。仮面ヨナダーはあなた自身です」。イラストは、設立時のアドバイザーが漫画家に依頼してくれたため、費用や時間の詳細については把握しておりません。
20	仮面ヨナダーは自分たちで考えましたか。発注されましたか。費用や時間はどのくらいかかりましたか。	
21	仮面ヨナダーの名前の由来を教えてください。	
子どもや若い世代の参加について		
22	子ども達の参加はありますか。	夏祭りが子どもたちにとっての大きなイベントです。その他、ウォーキングやクリーン作戦などにも参加してくれています。

下米田地区まちづくり協議会

23	若い人の加入をうながす秘訣はなんですか。	いろいろなイベント等に来ていただいて体験していただく中で、声かけをして、つながりを作っています。役員の中に若い方がいるので、その方のつながりで入ってくる方もいます。
24	参加者世代の広げ方、各々のつながりや学校との関係について教えてください。	学校との関係については、PTAや学校運営協議会、よなだっこサポーターとのつながりがあります。学校運営協議会はまち協会長が充て職となっているので、そのつながりで、学校の先生方と協力できる関係を作っています。
団体との連携について		
25	下米田の他の団体にはどのようにアプローチしていきますか。	他の団体とのコラボレーションは、最も力を入れたい部分です。まち協だけでなく、団体側にも連携のメリットや必要性があることや同じ課題意識を伝えることで、一緒にやっという機運を高めています。接点を増やすということを大切にしています。
26	各種団体とのつながりを増やしてください。	
27	牧野交流センターとの連携はありますか。	
PR方法について		
28	イベントの周知方法を教えてください。	公式LINE、自治会回覧、各種団体に出向く、公民館にポスター掲示、全戸配布など。
その他		
29	大切にしていることはなんですか。	一番は世話人会メンバーのつながりです。みんなフラットで同じトーンで会話ができる、素晴らしい仲間です。
30	地域の人材をどのように探していますか。ほかにどんな人材がありますか。	イベントを継続して実施し、地域の方と接点をつくる機会を増やしています。その中で触れ合った人、聞いた話の中から人材を見つけられています。
31	盆踊りは大盛況ですばらしいです。外のイベントの参加者は増えていますか。	ノルディックウォークは、最初1～2名+役員の参加でしたが、現在は平均20名が参加しています。続けることが大事だと実感しました。また、体育振興会とのコラボレーション企画なので、体育振興会側からのPRができていることも大きいです。

古井まちづくり協議会

	質問内容	回答
「古井の未来をつくるワークショップ」について		
1	ワークショップを行うことにした理由と目的を教えてください。 そもそも何でワークショップをやろうと思ったのですか。	今まで中間支援ということで、グループがまち協に加入していることはありましたが、個人の加入を促すために実施しました。そのためには、まずまちづくり協議会を知っていただいて、一緒に活動したいと思ってくださる方を増やすことが必要だと考え、ワークショップを行いました。
2	ワークショップに来る人は何人くらいですか。	毎回約20名くらいです。中部国際医療学院の生徒さんも来てくれるようになりました。
3	ワークショップの実施場所はどこですか。	上古井交流センター又は総合福祉会館です。
各団体等との連携について		
4	各ボランティアの支援はどのように集めましたか。	活動助成金の制度をまち協だより等で周知しました。助成金を活用した団体が他の団体に話をしたりと、徐々に広がっていきました。
5	中部国際医療学校の生徒さんの「健康講座」はどういったら来てもらえますか。	生徒さんには、ワークショップに毎月参加していただいています。古井まち協側も中部国際医療学院で生徒さんが実施しているワークショップに足を運んでいるので、その関係性があるために健康講座を実施していただけているのだと思います。また、自分たちの学校のある古井のまちを知りたいという思いもあって来てくださっているのではないかと思います。
6	小学校との連携や子どもたちとの交流はありますか？	小学校の直接的な連携はまだできていません。古井小学校の資源回収等には参加して協力しています。こども未来部の活動で古井人（こびと）のつどいを開催し、eスポーツ体験会を実施したり、参加者の声を聞き、パルクール鬼ごっこ体験会を実施予定でしたが、雨天により延期となりました。
多文化共生について		
7	多文化の活動はどうやって連携していますか。 誰が中心でやっていますか。	市のまちづくり課多文化共生係の職員やNPO法人アイキャンに協力してもらって実施しています。 NPO法人 アイキャンが外国籍の方に声をかけ、参加してもらいました。
8	多文化交流には何人くらい参加がありましたか。	約50人程の参加がありました。食をとおした多文化交流として、参加者それぞれが食べ物を持ち寄り、楽しい会となりました。

古井まちづくり協議会

9	住民、特に多国籍の住民が多いですが、大変ではないですか。	多文化交流の企画をとおして、外国籍の方が思っていることを聞くことができ、日本人との考え方の違いや発想など、新たな発見がたくさんあります。言葉が通じない等、課題はあるかもしれませんが、やさしい日本語を活用してコミュニケーションをとれたらと思います。
10	外国籍の住民との共生のなかで一番苦労されることはなんですか。	話をするきっかけがないことと、話す前から壁ができてしまっていることだと思います。
11	多文化共生、取組みの中で、日本のルール、特にごみ問題はどのようにしてみえますか。困ることはないですか。	ごみ出しのルールをあまり理解されていない方も一定数はみえると思います。しっかりと理解されている方もいます。間違えて出している時に何がどう違うのかを優しく伝えることが大切だと思います。
12	外国籍の住民から地域の要望や意見はありますか。	集まる場、話せる場があるのは嬉しいとの声をいただいたことがあります。まち協に対しての要望や意見は今のところありません。
活動メンバーについて		
13	まち協の活動メンバーは何名くらいですか。	約40名です。これからも増やしていきたいと思っています。
14	女性の参画者が多い理由はなんですか。	熊崎副会長が取り組んでいるふれあいカフェのスタッフの方がまち協に参加していただけるようになり、毎月のWSにも来ていただけるため、多くなっています。
その他		
15	まち協の重点ビジョンの選定はどのように決めましたか。	ワークショップ等で意見を出し合い、出てきた意見を整理した上で古井地区内にお住まいの方にアンケート調査を行い、地域の皆さんの思い等を反映して作成しました。
16	夏祭りは実施しましたか。	まちづくり協議会としては夏祭りは開催していません。
17	森山の商店街での夏祭りはまち協が実施したものでしょうか。	森山の夏祭りは森山連区が主催となって開催しています。まちづくり協議会は関わっていません。

蜂屋まちづくり協議会

	質問内容	回答
高校生との関わりについて		
1	どこのまち協も運営メンバーの高齢化が課題だと思います。高校生のメンバーは素晴らしいと思いますが、どうやって参加してもらったのでしょうか。	設立時のワークショップに親子で参加していただきました。その中で、高校生が「蜂屋にも勉強する場所がほしい」という声があり、その声を形にしました。そこで、参加者ではなく、企画運営側にも関わってもらうように働きかけを行いました。
2	どうやって高校生（若い人）を巻き込みましたか。	
3	高校生が参加するきっかけはどんなことだったのですか。	
4	若い世代と一緒に活動していく秘訣はなんですか。	まち協ができる前からやる気があって活動している方がたまたま高校生や30代だったという経緯です。
5	高校生の方が入って見えるのがすばらしい!!世代間ギャップはないですか。高齢の方との交流はどうですか。	世代間のギャップはあまりないと思います。若い世代のニーズがわからないので、頼りになります。高齢の方との交流は、今の段階ではあまりありません。
6	男子の高校生の参加はありますか。	まちづくり協議会メンバーは女子高校生のみですが、ハニカムの企画をサポートしてくれる高校生メンバーには男子高校生もいます。
7	高校生はどれくらいの頻度で関わってくれますか。 打合せ等はいつしていますか。	月に1回ハニカムという居場所づくり事業を進めています。最初は何回か顔をあわせて打ち合わせをしましたが、今はLINEで済ませることが多いです。
8	高校生とのコラボはこれからどのように繋げていきますか。	ハニカムといった居場所づくり事業以外にも様々な分野で若い世代に活躍してもらいたいと考えます。
「ハニカム」について		
9	若者を中心とした活動「ハニカム」素敵です。 他の世代や他の団体との関わりはありますか。	来場者のメインターゲットが、小学生から高校生までです。現時点では、まだあまりないですが、何か企画をやる際に講師として高齢の方や他団体の人に来てもらうことは考えています。

蜂屋まちづくり協議会

10	ハニカムの運営スタッフは高校生だけですか。 大人の運営スタッフは何人で、何をしていますか。	企画運営のメインは高校生です。まち協メンバーである高校生が、同じ高校の仲間を集め、運営しています。大人はサポートで3人程度はいるようにしています。
11	活動は子ども中心ですか。大人の活動はありますか。	ハニカムのターゲット層が小学生から高校生までなので、大人の方向けの企画はありません。別の企画で、大人をターゲットにした企画を行っています。
12	高校生への声掛けに理解された人は町民の中でどのくらいいますか。	どの程度いるか把握していません。 ただし、まち協として、若者の活躍の場を作っていくことは必要だと考えています。
13	夏休み期間中に「ハニカム」として何か特別なメニューはありますか。	夏休み期間として、特別なメニューはありません。まだ試行錯誤中ですので様々な企画を行います。
14	もくもくスペースは、誰が見ていますか。問題は起きませんか。	もくもくスペースは勉強するスペースなので、「お茶とお菓子を置いておくから気分転換に食べてね」と声掛けをする程度です。 特に問題は起きていません。
PR方法について		
15	子どもへのPR方法はどのようにしていますか。チラシやSNSですか。	小中学校へのチラシ配布がメインとなります。
16	参加している小学生、高校生はどういった子どもたちですか。（参加の基準）	特に基準は設けていません。どなたでも参加できる場づくりを行っています。
その他		
17	夏祭りはまち協が中心になってやっていますか。	夏祭りは、実行委員会形式です。 令和7年度はあまり運営には関わりませんでした。今後については検討中です。
18	蜂屋食堂はまち協のスタッフはいますか。民間がやっているのですか。	はちっこ食堂は、まち協とは別の組織になります。まち協のスタッフがボランティアで関わったりしています。

## 伊深まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・伊深の歴史は浪漫！
- ・イベントが多い。歴史を生かしている。
- ・「地域の歴史を残す」取り組みに共感します。素晴らしい！
- ・素晴らしい！！歴史を掘り起こしてみえることを応援していきます。
- ・歴史がわかって良い。
- ・歴史を大切に ありがとう伊深
- ・地域の歴史を残すこと、最高です。頑張ってください。
- ・伊深の歴史をこれからも語りつないでいってください。
- ・「昔の写真」持ち寄り談話会素晴らしい。ぜひやりたい。
- ・歴史を伝えるすごい！
- ・地域の歴史を残すことは大変重要。
- ・歴史を掘り起こし伝えていく事素晴らしいです。
- ・歴史が大変ある。温故知新を更に進めてほしい。
- ・歴史を大切に生かされていて素晴らしいと思います。
- ・歴史を残す活動が素晴らしい。
- ・伊深の文化継承素晴らしい！
- ・昔の写真持ち寄りステキです。
- ・写真を残す、とても大事なことだと思います。
- ・みんなでわいわい昔の話ができるのがいいと感じた。
- ・伊深ごはんの会さんのごはんが大好き。女性の参加がいいな～。
- ・昔の食を伝える活動はぜひ続けてほしいです。
- ・伊深の”ごつつお” 食を通じた取り組みとっても大好きです。
- ・伊深温泉はじめてみました。素晴らしい。
- ・伊深温泉復興して下さい。
- ・「伊」いまちは「深」い 深さが伝わりました。
- ・高齢者が元気でステキです。
- ・人間味があたたかい。
- ・伊深義民素晴らしい！！
- ・見る・話す・食べる 五感で人から人へ伝えること素晴らしい。
- ・子どもにとって楽しいイベントたくさん未来へつなげて。
- ・またお邪魔します。
- ・いつも伊深に行って思うことは住民の方の笑顔がステキでやさしい方が多いことです。
- ・やる気が素晴らしい。



## 三和まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・ 空き家対策応援ガンバレー
- ・ 空き家調査と空き家紹介はとても素晴らしい取り組みですね。
- ・ 空き家を紹介しているのはすごいです。相続までつなげる発想すごい。
- ・ 三和町に人が来る努力はすばらしいです。
- ・ 人口が増えている取り組みに対して、成果が出ていて素晴らしい。
- ・ 人口増加、住みよい町に色々対策を考えている事が素晴らしい。
- ・ 人口増へ向けて色々な取組み、非常に良いと思います。頑張ってください。
- ・ 行ってみたい!!住んでみたい!!居続けたい!! とても良い流れですね。
- ・ 人口が減少しても、魅力的な住民は増えていると思います
- ・ 人間味があたたかい。
- ・ 交流人口を増やす活動をこれからも頑張ってください。
- ・ 終活、相続、懇談会 いい企画ですね!
- ・ 終活への取組、課題への解決につながるいい取組。
- ・ 「終活&相続なんでもお喋り会」いいですね。
- ・ 30年ぶりの盆踊り!素晴らしい
- ・ 三和の食材すごい!
- ・ ほたるの保護活動はすばらしい。
- ・ つづやビレッジ行ってみたい。
- ・ キャンプ場にいったーみたい。
- ・ つみきさん、キャンプ場、つづやビレッジがますます盛んになるよう祈ります。
- ・ 御殿山キャンプ場残っていてほしいです。
- ・ つみきさんやつづやビレッジなど元気な方たちがいるので、さらに協力し合って盛り上げられると思う。
- ・ 三和にしかない良さ キャンプ場、ゲンジボタルなど全国発信
- ・ 三和らしい三和しかできない活動を頑張ってください。
- ・ いろいろな取組みをしている三和小はすごい。
- ・ 年配の方も楽しめる取組みができているのが良い。
- ・ 新しい人が行動してくれるのは、皆が環境を守ってくれているからこそ。
- ・ 三和の自然、人の魅力すてきです。交流人口増へ!
- ・ 住民とつながる活動がされています。これからも頑張ってください。うらやましいです。
- ・ 他地域との連携を考えているのがすごい。
- ・ 三和町大好き!!次から次へと楽しいことを工夫してやってみえることすごいと思います。



## 加茂野町まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・大人も子どもも楽しめる機会が作れるのはよいですね。
- ・ナイトあまちとってもステキ!!きれいな!!子どもたちと共にながすばらしい!!
- ・加茂野愛溢れるフェスティバルすてきです!ぜひこれからも!
- ・ナイトあまち雰囲気がよくて今後も続けてほしいです。
- ・フェスティバルによるまちづくり、大変ですけど頑張ろう。
- ・ナイトあまち、中学生 ボーイスカウトのボランティア活動いいですね!
- ・ナイトあまちへの中学生ボランティアはすばらしい!
- ・大規模なナイトあまちがますます盛んになるように。
- ・かものフェスティバル親子で参加しました。楽しかったです!
- ・フェスティバルは思い出と繋がりをつくる 頑張っ!!
- ・子どもたちが関わる場を工夫する!!ステキです
- ・フェスティバルの成功はよかったですね。
- ・「人と人とのつながりを求めて」フェスティバルは良いですね。
- ・人口が多いなりの6課題にお祭りを生かして取り組む姿勢、ポジティブさがすばらしいと思いました。
- ・フェスティバルによるまちづくり、大変ですけど頑張ろう。子どもたちも参加できていいことだと思います。きっと未来は生徒に!
- ・交流の場いいね!!思い出づくり最高
- ・大人 子ども交流会、子ども達に大事な良いことですね
- ・子どものためにすてきな活動ばかりです!
- ・人口多い!まとめるすごい!!
- ・まち協×自治会⇒最強!
- ・郡上節生演奏は最高でした!!



## 山之上まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・学校の整備や、行事で関わられるのはとても良いと思います。
- ・小学校とのつながりが大きくて、きっと子ども達に伝わります。
- ・小学校を巻き込んで地域との一体感が感じられとても良いと思います。
- ・広報誌スゴイ、インスタもステキです!!
- ・市長と語る会いいですね。うちもやろう。
- ・山之上の薪いいですね。
- ・ふれあいサロンまたお邪魔します。
- ・ふれあいサロンのにぎわいにびっくり！お手本にしていきたいです。
- ・定期的にサロンを開催できているのは良いですね。
- ・ふれあいサロンは楽しくたくさんのごちそうがいただけます。
- ・ふれあいサロンの雰囲気が好きです！
- ・サロンに集まる人がとても多くて、みんなが楽しそうです。
- ・ローゼル美味しかった！
- ・工夫と事業の充実すばらしい。ぜひ後世につなげて!!
- ・草刈りの活動はこれからも大切です、頑張ってください。
- ・自分たちのまちを本気で考え、動いているのが伝わってきました。
- ・山之上のまち協は地域のメインエンジン！
- ・課題、分析、必要な取組みすごいです。
- ・山之上愛あふれる活動、自分たちでできることは自分たちで、すてきです。
- ・目的がはっきりしていて良い。
- ・広い場所があっていいな。古井にも拠点がほしいです!!



## 下米田地区まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・ 部会ごとに主体性を大切にされている。まちづくりの原点。
- ・ 部会活動の充実で下米田の魅力いっぱいですてきです！
- ・ 部会制がとれるのはいいですね。
- ・ 部会があって自主的に活動しているのがスゴイ！！
- ・ 自主性イイネ！！
- ・ 下米田には写真映えするところがたくさんありますね。
- ・ 竹灯籠は良いですね！
- ・ 竹灯籠づくりきれいでした！
- ・ 地域の人材を生かした竹灯籠づくり。
- ・ ノルディックウォーク、竹灯籠づくり、面白いイベントぜひ後世に伝えて！！
- ・ 竹灯籠づくりいいですね！
- ・ 米田白山サイコー!!ぜひバッチをつくってください。
- ・ 仮面ヨナダーPR キャラ
- ・ ヨナダー地域愛がすごい!!若い会長ファイト!!仲良く楽しいこう!!
- ・ 祝！ヨナダー生誕10周年！
- ・ イメージキャラクターがあるのはすばらしい！親しみやすくて good！
- ・ 下米田のためにヨナダーがんばれ！



## 古井まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・「やってみたい」という声が出てくるようになったのはいいです。実施までできているのも good!!
- ・恵まれた自然・川を活かしたカヌー体験会とても魅力的。ぜひ後世に伝えて！
- ・おしゃべりから体験しようということに変化すごい!!
- ・AEDの調査→取り扱いステキです。
- ・団体の活動を支援することも大切ですね、古井流で。
- ・「中間支援」の発想と取組みがすばらしい！
- ・中間支援をやってみえるご苦労様。
- ・古井らしいまち協の姿を作り出してください。(大きい地区の特徴)
- ・古井らしい”まちづくり”楽しみにしています！
- ・古井の力はヒトと資源の多様性
- ・古井らしさあふれるまち協のあり方すてきです！
- ・古井らしいまちづくり楽しみにしています。
- ・住んで楽しい地域にしてください!!
- ・チョイソコでいぶカフェへ来ていただけるそうでありがとうございます。
- ・チョイソコなど活発な活動!!すごい!!三和にもきてね
- ・多文化共生素晴らしい！
- ・多文化共生の取組み、ぜひ進めてください。ゴミ拾いなど
- ・アプリ体験会はすごいですね。今の時代必要なことですね!!
- ・多文化共生の活動素晴らしい！
- ・外国籍の人たちに色々な事を教えてあげてほしいです。



## 蜂屋まちづくり協議会 ～感想・応援メッセージ～

- ・ 高校生の参加はうらやましい。
- ・ 高校生とのつながりをつくったのはナイスプレー
- ・ 高校生が参加できているところがすばらしい!!
- ・ 高校生が活動に参加しているのは超ステキ
- ・ 高校生の皆さんこれからも活動してね。
- ・ 高校生とのタイアップ、新しくて期待大!
- ・ 高校生との取組みいいね♡
- ・ 高校生のまち協の関わり、参加は素晴らしいと思います。
- ・ 運営側での高校との連携今後も楽しみです。
- ・ 高校生のサポートは良いですね。
- ・ まち協に高校生スタッフが居るのは素晴らしい。
- ・ 高校生と関わっての活動、すばらしい。
- ・ 若い人入ってすごい!!
- ・ 伊深のまち協にも若い人紹介して。
- ・ まち協の活動に高校生が参加する。
- ・ 高校生主体の運営すばらしい。
- ・ 高校生がまちづくりに一役加わりすばらしいです。
- ・ まち協のメンバーに高校生がいること自体がすばらしいことです。
- ・ 若い高校生の感覚、行動はすばらしい。
- ・ 高校生の力・気持ちををまさに活かしてすばらしい。
- ・ 高校生の声をカタチに、協働する蜂屋まち協すてきです。
- ・ 子ども世代のつながりすごい。
- ・ 1年間で新しことに取り組んでいてすごいです!!
- ・ 蜂屋っ子が主体的にまち協に参加(協力)して盛り上げてすばらしい。
- ・ ハニカム運営頑張ってる!
- ・ ハニカムネーミングかわいい!
- ・ ハニカムのネーミングがとても良いですね。ワイワイ勉強スペース若い世代がいるのがすごい!!
- ・ ハニカムワイワイもくもくすばらしい。
- ・ ハニカムがつくる高強度な地域!



